

TPP参加で懸念されること

「食の安全」が心配

価格の安い食料が手に入るようになる一方、日本で認められていない食品添加物の使用、残留農薬基準の見直しや食品輸入時の手続簡素化など、食品安全よりも経済取引が優先される可能性があります。



国民皆保険制度が危ない

誰でも平等に安価で医療を受けられる現在の制度が失われる可能性があります。



最新の医療を受けられる一方、自由診療の解禁を契機に、営利企業による病院経営が認められ、国民皆保険制度を維持することができなくなる恐れがあります。



「食料・農業」が危ない

日本の食料自給率が低下し、国内の食料安全保障を脅かすことになりかねません。



また、荒廃した農地や山林が増えることで、食料生産だけでなく農業の多面的機能の喪失など、環境面に深刻な影響を及ぼすとされています。



「地域経済」が壊される

日本企業の海外進出がしやすくなると、税金や賃金の安い海外に本社や工場等の移転がすすむ恐れがあります。また海外企業の公共事業参入で、地元中小企業の受託が減少し、地域の雇用が失われることにもなります。



さらに、地産地消を柱にした学校の給食事業も、地元食材を使う事が自由貿易の障壁とみなされ、地元の食材を使うことが難



しくなる懸念があります。

TPP 参加許すな!!三重県民拡散アクション実行委員会

賛同団体: 新日本婦人の会三重県本部・鈴鹿革新懇話会・年金者組合三重県本部・農民運動三重県連合会・みえ医療福祉生協労働組合・みえ教育ネットワーク・三重県商工団体連合会・三重県生活協同組合連合会・三重県民主医療機関連合会・三重県労働組合総連合・みえ自治労連・(有)三重ヘルスプランニング(五十音順)

問合せ先: 三重県生活協同組合連合会 三重県津市桜橋2-135 ハイフジタ1F

TEL: 059-228-9913 <http://miekenren.jp/>